＜先週の説教から＞

『平和聖日礼拝― 戦争と平和 』

武田真治牧師

詩 編 ８５：９～１４ ペトロの手紙 １：１～３

「平和」は旧約聖書の言葉で（シャローム）です。ユダヤ人の中での挨拶の言葉ともなっています。この言葉は旧約聖書に237回も登場し、単に戦争がないだけでなく、安全なこと、無事であること、和解や繁栄を意味します。特に、詩編ではたくさんシャロームが使われ、平和を願い、平和を歌っていそうなのですが、実は、詩編には27回しか出ていません。ただ、それだけに平和が語られる箇所には印象に残る言葉が多いです。今日のこの詩編 85 編9節以下もそのような箇所の一つです。ここにはシャロームが2度も登場しています。即ち「主は平和を宣言されます」と「慈しみとまこととは出会い、正義は平和とロづけし」です。

実はシャロームは、シャレーム(＝分かつことが出来ない、離せない）という言葉から来ており（全うされている、ひとつである）状態を指します。従って、本来、聖書の言うところの“平和である状態”とは（分裂していないこと）を指すのです。ここで「主が平和を宣言される」ということは、神様が『分裂しないように、ひとつであれ』と語っておられることになります。誰に対してそう宣言しておられるかといえば、次に続く「御自分の民に、主の慈しみに生きる人々に」対してです。これは明らかに信仰者たちへの言葉です。しかも「彼らが愚かなふるまいに戻らないように。」と続くのです。従って、ここでの「愚かなふるまい」とは（何かの問題で分裂したり、止めてしまうこと）とも見做せるのです。しかも「戻らないように」とあるのですから、かつてそのような愚かな行為を犯したことがあると。故に、二度とそうならないようにしなさいと神様が語り掛けられているのです。

次の「慈しみとまこととは出会い、正義は平和とロづけし」はよく引用される言葉ですが、誤解されて来た言葉でもあります。それは人間が自分たちの“正義”を立て、それを実現することが“平和”の確立であるかのように。それは大きな間違いです。ここでの「正義」とは次の節に「正義は天から注がれます」とあるように“神様の正義”です。直前の「慈しみとまことは出会い」が「主の慈しみ」と「地から萌えいでるまこと」（＝神様から下されるものと人が答えるものとが呼応すること）であるように、神様からの「正義」に答えることで地に「平和」が実現することを「ロづけ」という行動で表しているのです。逆に言えば、人間の側の正義が叫ばれる所には真の平和は来ないのです。まして、戦争を開始するための正義など存在しません。人々が自分の思想や自分の義を立てず、すべての人が神様を第一にした時に、初めて“平和＝シャローム”がこの地上に実現するのだと聖書は語っています。そうあってほしいと神様は“平和”を、『分裂するな』といつも「語り掛けて＝宣言されて」いるのです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会 Ⅰ． 8月 24 日（水）20：00
Ⅱ． 8月 25 日（木）10：30

聖 書： ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題： 上尾冨士見幼稚園を覚えて
担 当 者： （水）松田 （木）兼川
祈 る 人： 羽倉 北條
＊ひつじ雲の会 8月23日(火) 13：30

【教勢報告】

主日礼拝 男 ２２ 女 ４３ 計 ６５
祈祷会 Ⅰ．男6 女4 計10 Ⅱ、男3 女9 計12
日曜学校 休会

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】 8月 ２８日（日）

聖 書： 詩 編 ２５：１～２２
使徒言行録 １８：２４～２８
説 教： 「詩 編㉕ ― 主の道を
教えてください！」 武田 真治 牧師
讃美歌： ２１１(1)、３２(1)、１８(1～3)、
４６３（1と2)、２４

【次週当番表】

司式:坂田長老 奏楽:山中 礼拝:金刺長老
献金：土門 中澤 受付：金刺 坂田
会堂準備：大野 勝村 黒澤 西尾
看板：中村 週報：飯島 お花：休み

【次週集会予定】礼拝前：・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後：・礼拝/牧会/教育/社会/伝道 各委員会 ・聖歌隊

６３－３４

週 報

2022 年度 教会標語

「礼拝に支えられ、共に生きよう！」

２０２２年 ８月 ２１日

日本キリスト教団 **上尾合同教会**
牧 師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX 048－771－6549
http://www.ageo-church.org/